

◆「まちづくりひろば」(当初は「フォーラム」と呼称) **実施記録** (1999年10月に第1回。ここでは2005年度以降)

主催:釜ヶ崎のまち再生フォーラム(09年からは大阪市大西成プラザ等との共催が頻繁に)

通算回数	開催日時	会場	テーマ	ゲスト・スピーカー	参加者数	メモ
78	05年 4月12日 (火)	西成市民館	「はなすこと・きくこと・よりそうこと ~紙芝居とハーモニカでほんのりと~」	「お寺の出前の会」 宮本直樹さん(1号庵) 浄土真宗本願寺派・観念寺住職 大崎信久さん(2号庵) 浄土宗・安福寺住職	25人	釜ヶ崎ではキリスト教系の活動は活発だが、仏教系は珍しい。この日が「新歴史の始まり」かも。
79	05年 5月10日 (火)	西成市民館	“おおさかカオサン通りプロジェクト(仮称)”って何だんねん?	西口宗宏さん(「ウエルフェアマンション‘おはな’経営者) 松村嘉久さん(阪南大学国際コミュニケーション学部助教授)	20人	簡易宿泊所の新活用方法による釜ヶ崎の新しい役割がいよいよ本格化。福祉化路線だけではない、元気な釜ヶ崎を語り合う
80	05年 6月4日 (土)	阿倍野 メディックス	ミニワークショップ 台北・ソウル・大阪のホームレス支援施策	台北市政府社会局社会工 作員 楊運生氏 韓国 全国失職露宿者対 策宗教・市民団体協議会 事務局長 丁恩一 氏	40人	大阪市立大学水内教授らの東アジアホームレス調査プロジェクトとの協働
81	05年 7月12日 (火)	西成市民館	紙芝居劇団公演と語り合い ○演目「ぶんぶく茶釜」○ 「自主運営」に向かったのあいさつ、別名「独立宣言」 (おっちゃん代表) ○ささえ方についての議論(関係する有志による状況報告や提案)	紙芝居グループ「むすび」 のみなさん	25人	元野宿の高齢者たちのこんなサークルが釜ヶ崎で育つなんて画期的! 支援の輪の出发点
82	05年 9月13日 (火)	cocoroom (フェスティバルゲート 4階)	出会い、交流、協働のプラットフォーム「起業家カフェ」でお会いしましょう	上田假奈代さん (NPO法人cocoroom代 表、詩人)	30人	おおさか元気ネットワークの「出前カフェ」を共催としたもの。ねらいは社会起業家の掘り起こし
83	05年 10月11日 (火)	西成市民館	「いま話題の厚労省の“自立支援プログラム”ってなんやねん? ~釜ヶ崎のおっちゃんたちもシッカリ考えよう~」	<1>加美嘉史さん(大阪体育大学健康福祉学部講師) <2> 水内俊雄さん(大阪市立大学教授) <3> カマヤんたちと支援者たちはこう考える(討)	30人	政府や行政の動きをいち早く察知し、いち早く構える。しかもおっちゃんたち自身が、というスタンスで。
84	05年11月 8日(火)	西成市民館	「今、東京で起きていること~釜ヶ崎のおっちゃんたちも支援者たちもシッカリ学ぼう~」地域生活移行支援事業を中心に	安江鈴子さん(NPO法人新宿ホームレス支援機構、季刊「シェルターレス」編集者)	30人	今度は運動の側の最新情報をつかむ。釜ヶ崎の経験と共通するのは「ハウジング・ファースト」の考え方
85	05年12月 13日(火)	西成市民館	「古き釜ヶ崎をたずねて、新しき釜ヶ崎を知る。~今、つくられたまち釜ヶ崎の史実を問う~」	吉村智博さん(リバティお おさか・大阪人権博物館 学芸員)	30人	「日本橋の名護町スラム→現在地に強制転居」論を見直す。実は「宿」がキーワード。釜ヶ崎成立は1904年頃か。

86	その1) 06年1月 20日 (金)	大阪人権 博物館／リ バティおお さか	大阪人権博物館／リ バティおおさか 見学 ツアー	吉村智博さん(同館学芸 員)が案内	13人	釜ヶ崎やホームレス の問題を人権の視点 からしっかりとらえ直 す。おっちゃんたち の遠足も兼ねて。
87	その2) 06年1月 21日 (土)	大阪市立 阿倍野防 災センター	釜ヶ崎の防災・減災シ リーズ(5) 防災体験学習ツアー	全員	15人	釜ヶ崎では防災問題 まで手が廻らない団 体が多い。そこでま ずはわれわれがそれ を示す。おっちゃん たちの遠足も兼ね て。
88	06年 2月14日 (火)	西成市民 館	「激減するばかりのア ブレ手帳。いったいな ぜ？ どうする？ 地域 への影響は？ 最近の 求人増の傾向や飯場 の数減少の実態は？」	海老一郎(えび・かず お)さん(西成労働福 祉センター労組書記 長)	25人	釜ヶ崎はもともと労 働者の街。その深奥 で起きている重大な 流れに迫り、ともに 考える
89	06年 3月14日 (火)	西成市民 館	釜ヶ崎のおっちゃん たちと浪速のニート のおにちゃんたちの 出会いのタベ ～ま ずは語り合うこと から始めよう。最下 流のこの地で～	「いしくんぼ」さん ニート芸人(引きこ もり20年)	15人	高齢者型野宿者問 題解決に一定のメ ドが見えてきた中 で、早くも若者型 に対策の目を喚起 することがねらい。
90	06年 4月11日 (火)	西成市民 館	西成区生活保護受給 者聞き取り調査結果 の全容	水内俊雄さん (大阪市立大学教授)	40人	この数年激増した、 脱野宿の居宅保護 者等への大規模調 査結果をどこより も早く知れるとあ って、ふだんに ない顔ぶれ多数が 参加
91	06年 5月28日 (日)	平野区平 野郷一帯	平野区の「町ぐるみ 博物館」めぐり	まちづくり講和 川口良仁さん(全興 寺住職)	13人	古い釜ヶ崎の誇りを 残し、新しい釜ヶ 崎をどうつくるか、 楽しみながらその ヒントをつかむ。 おっちゃんたち の遠足を兼ねて。
92	06年 6月13日 (火)	西成市民 館	「ホームレス支援の 立場から、地域福祉 資源としての仏教を 考える」	川浪 剛さん (浄土真宗大谷派僧 侶)	10人	「仏教って本来、” 排除された人々” の問題にこんな にとりくんでいた のか！」と新発見。 参加者最少人数 ながら中身は最も 濃かったかも。
93	06年 7月11日 (火)	西成市民 館	「スライド写真を見 ながら、語り合おう 、釜ヶ崎の今昔。明 日に誇りを引き継 ぐために」～釜ヶ 崎の生き証人たち が語り合うタベ～	ファシリテーター 原口 剛さん (大阪市立大学・院 生、地理学)	21人	おっちゃん参加型 ひろば」をさらに すすめて、老いても なお元気なカマや んOBたちが思い っきり語れる場 にした。そしたら、 思い出す思い出す わ…。

94	06年 9月12日 (火)	西成市民館	「釜ヶ崎・新世界が映っているロケ映画から昔の風景を取り出し、語り合おう。元気だった頃を思い出そう、明日に誇りを引き継ごう」	ファシリテーター 原口 剛さん (大阪市立大学・院生、地理学)	25人	「ピリケン」「太陽のひろば」等を事例に街空間の変遷をなぞる。否定的描かれ方に怒りも。「だからまちづくりがたいせつ」と確かめ合えた夕べ
95	06年 10月18日 (火)	紀州街道	鳥の目虫の目紀州街道～まちづくり意識醸成スタディツアー～	ガイド役 松村嘉久さんとそのゼミ生 (阪南大学教授)	20人	釜ヶ崎を南北に貫く街道ロマンに沿って、わが街を別視点で見るシリーズ。健康・つながりづくりも兼ねた老若合体型アクション企画
96	06年 11月14日 (火)	西成市民館	<釜ヶ崎形成史見直しシリーズ続編>「1920年代の都市大阪と「釜ヶ崎」	吉村智博さん(リバティおおさか・大阪人権博物館学芸員)	20人	当時の木賃宿街内部の暮らしぶりや人口伸縮。公園シェルターもすでに議会で提案されて、今昔変わらず。今回は、率先して戦争体制に協力する哀しき釜ヶ崎を学ぶ・・・
97	06年 12月19日 (火)	市大・西成プラザ(太子福祉館)	市大西成プラザ開設記念フォーラム 「石油王とハリウッド～1930年代のロサンゼルス～」 ▽市大都市研究プラザと共催	フィリップ・エシントン (南カリフォルニア大学教授)	50人	この地に調査・研究・実践で関わってきた市大自身がプラザ(ひろば)を開設。再生フォーラムの「ひろば」と新たな協働へ向かう起点に。
98	07年 1月9日 (火)	西成市民館	<緊急テーマ> 釜ヶ崎「住民票問題」の本質を問う～現場での対応を考えるために～	笹沼弘志さん (静岡大学教授・憲法学)	60人	マスコミによる実情無視・無理解の全国報道に不安と怒りを抱えて、会場は地域横断的な顔ぶれで盛況。「ひろば」はおおいに機能発揮。
99	07年 1月15日 (月)	市大・西成プラザ	<釜ヶ崎の防災・減災を考えるシリーズ(6)> 防災Deわがまち見直し散歩+防災座談会「平常時にできること」	田中稔昭さん (NPO日本災害救援ボランティアネットワーク理事長)	12人	地味なテーマのため予想どうりささやかな集まりだったが、このシリーズ初めて3人も町会長さんが参加。「多様な住民層の融合」という意味で画期的。
100	07年 2月13日 (火)	西成市民館	「循環型社会のすきまで生きる釜ヶ崎」あるいは、「空き缶・新聞紙回収は泥棒か?」～リサイクル問題専門家が見た釜ヶ崎の位置と意義～	ゲストスピーカー: 渡辺信久・大阪工業大学教授(工学部環境工学科廃棄物共存研究室)	20人	中国等を含む国際リサイクルが国内システムを破綻させているのに、国や自治体は今もへんな条例を。「社会的コスト論ではアルミ缶回収が福祉の肩代わりをしている面も計算すべき」と。
101	07年 2月28日 (水)	西成市民館	<続・緊急ひろば> 行政史に残る愚拳を大阪市ならびに全国でやらせないための講演と討論・釜ヶ崎まるごと集会	笹沼弘志さん (静岡大学教授・憲法学)	50人	住民票消除阻止に連日動いている運動体、裁判中の原告、とまどう新聞記者、提案する簡宿経営者など多角的な討論と情報交換の場となった。

102	07年 4月10日 (火)	西成市民館	<釜ヶ崎の歴史見直しシリーズ続編> 戦争は日雇労働者を元気にする!?	吉村智博さん (リバティおおさか/大阪 人権博物館 学芸員)	30人	なんと刺激的なタイトルか。内容もショック。今回は珍しく神父さんやシスターなどキリスト教関係者もすっ飛んで来られた。テーマによって当ひろばの参加者はかくも多彩。
103	07年 5月8日 (火)	西成市民館	<釜ヶ崎の歴史見直しシリーズ続編> 「飛田新地って、ほんとは何?釜ヶ崎との関係は?釜ヶ崎訪問者にどう説明したらいいの?」	加藤政洋さん(立命館大学 文学部准教授)	21人	新世界・飛田遊郭・釜ヶ崎と3点セットとされてきた。が、史実は違う。新世界開発の一環として(南北に人の流れをつくる。その通路がジャンジャン横丁)飛田はできた。なるほど。見直しシリーズは盛り上がる。
104	07年 5月20日 (日)	南霞町駅 ~阿倍野 墓地に通じる 一帯	<釜ヶ崎成立おおよそ100年記念> ワシらの足元は歴史ロマンにあふれている。 鳥の目虫の目・紀州街道歩き~その2~	ガイド:水内俊雄・大阪 市立大学大学院教授 (地理学)	36人	カマヤんたちにココルーム系、市大・阪南大・立命大などが加わり、総勢36名の大ツアーに発展。「歴史散歩道マップをつくろうか」という声がある。
105	07年 6月12日 (火)	西成市民館	もう一つの全国ホームレス調査 ~ホームレス『自立支援法』中間年の見直しに向けて~ 虹の連合 調査分析: 大阪就労福祉居住問題調査研究会	水内俊雄・大阪市立大学 大学院教授	40人	再生フォーラムも協力して1年かけた民間調査の結果発表を2時間も熱心に聴き入る人々。「参加できないが、資料だけでも確保したい」という声も行きかい、今回も「ひろば」機能発揮と感ずる。
106	07年 7月10日 (火)	西成市民館	紙芝居劇グループ「むすび」のロンドン上演リハーサルと語り合い 演題「ブンちゃんの冥土めぐり」	「むすび」のみなさん	20人	釜ヶ崎にこんな居宅保護者グループが生まれ活動していること自体、驚き。ずっと見守ってきた人々、見るのは初めてという人々等による壮行会兼アドバイスの場となった。
107	07年 9月 11日 (火)	西成市民館	ギャンブル依存症とは何か。 そして、自助グループにつなげるまでのお話	滝口直子さん・大谷大学 教授(ギャンブル依存症 の治療研究・実践家)	26人	この依存症はなぜ起きる?どうすれば出口へ向える?この際きちんと向き合おうと。单身ゆえに底つきが容易に来ない「釜ヶ崎またはホームレス型」への対処法も話題となる。
108	07年 9月27 日(木)	市大・西成 プラザ	東京のNPO「自立生活支援サポートセンターもやい」との経験交流	もやい側:稲葉剛さん(理事 長)他 釜ヶ崎側:川浪 剛さん (浄土真宗僧侶)他	42人	単身高齢者・神父・お坊さんら参加のもと、(長年の懸案)「安心して死ねる」べく、自前の葬式やお墓の持ち方を本格議論。記録映画「コーヒー焙煎プロジェクト」も上映し、示唆受ける

109	07年 10月9日 (火)	西成市民館	短編映画『釜ヶ崎のレーニン』と、紙芝居グループ「むすび」のロンドン上演録画上映	映像アーティスト・森村泰昌さん 紙芝居劇グループむすびのみなさん	80人	エキストラ(特掃や生活保護の人々)120名を臨時雇用して釜ヶ崎ロケした作品の発表会。むすびは快挙の報告。緊急宿泊所入居者、一般市民、若者なども来て立見席に。「ひろば」機能絶好調。
110	07年 11月13日 (火)	西成市民館	散歩好きな単身高齢者や安宿街外国人旅行者用に『釜ヶ崎界限歴史散歩道』案内のデジタル・システムを創ろう	内田敬さん (大阪市立大学工学部・准教授)	21人	阪南大観光学科も参加。先ず釜ヶ崎内部のスタディ・ツアーからデジタル案内方式を導入することになり、ワーキングチームを結成。
111	07年 12月11日 (火)	西成市民館	釜ヶ崎の単身高齢者保護生活者の必要生計費＝生活扶助基準をさぐるミニ・ワークショップ～厚労省「生活扶助基準に関する見直し検討会」と比較検討しながら～	進行役:加美嘉史さん (大阪体育大学福祉学部専任講師)	25人	当事者が自分でする生計費計算に立ち会うことで、「生活保護基準をさらに削るなんてとんでもない」という実感を共有した。「ひろば」らしい対抗策かなと。
112	08年 1月15日 (火)	西成市民館	私たちの命を地震や台風から守るための、わかりやす～いお話～「釜ヶ崎の防災・減災を考える」シリーズ・その7～	茂岡一政さん CVV(シビル・ベテランズ&ボランティアズ)	28人	大正区の小学校向け防災出前授業用パワーポイント映像で、地震対策と台風対策、大阪平野の歴史を学び、語り合う。ささやかでも「継続は力なり」を信じて。
113	08年 2月12日 (火)	西成市民館	釜ヶ崎を変える”国際安宿街プロジェクト”の今とこれからを語り合う。その進展具合と課題。地域全体の底上げにどうからませられるか。	山田英範さん(簡宿委員会OIG委員会メンバー。カオサン視察報告者)	20人	すでに1日200人近くが界限に宿泊。カオサン等の経験では今のうちに広く議論し、地域全体のプラスになるしかけづくりが必要と。人との新しい出会いの場づくりができないかと。
114	08年 3月11日 (火)	西成市民館	あいりん総合センター内外における新旧・日雇い派遣の実相があなたには見えていますか?～久しぶりに釜ヶ崎の心臓部分・あいりん総合センターの諸問題に迫る～	西成労働福祉センター職員の労働組合の方々	26人	日雇いの就労ルートがあいりん総合センターより外へ拡散している現状、しかし携帯電話で手配されるのは4%でしかないこと、地方分権一括法での国の監督責任の範囲の問題などが議
115	08年 4月27日 (日)	堺方面～	～鳥の目虫の目・紀州街道歩きシリーズ その3～自由都市堺の歴史群→就労自立支援住宅「オikos堺」まで	案内人は水内俊雄さん(大阪市立大学都市研究プラザ教授)。ご協力は同西成プラザ。	18人	1680年の自由都市堺の古地図にもとづいて歩く。堺に中心街が無いのは城下町ではなく、自由都市だったため等を実感。
116	08年 5月13日 (火)	西成市民館	日本における犯罪や刑務所の実態、出所前後の社会復帰支援等はどうなっているか?ホームレス問題や釜ヶ崎の問題とむすびつけて考えてみよう。	ゲストスピーカー:龍谷大学法科大学院教授 浜井浩一さん(刑事政策、犯罪学、社会調査、統計学・犯罪心理学)	35人	「犯罪は減っているのに、刑務所は満杯!」の理由を鮮烈解明。本来なら福祉施設が受け皿になるべき高齢者、知的・精神障がい者等が放置されている衝撃実態が語られる。

117	08年 6月10日 (火)	西成市民館	更生保護って何だろう？ そのしくみと実態を知ろう。 釜ヶ崎との深い関わりも  ～ミニ・シリーズ「刑務所出所者と釜ヶ崎」その2～	ゲストスピーカー：法務省 大阪保護観察所保護観察官 西原実さん（西成区担当4年目のベテラン）	28人	上記講演に衝撃を受けて、急きょシリーズに。同じタイミングで西成区に「刑余者支援ネットワーク」が結成され、再生フォーラムも参加するというアクションにつながる
117	08年 7月8日 (火)	西成市民館	保護司さんの話を通して、刑務所を出た人々の西成区やあいりん地域における生活実態と社会的包摂の諸問題を学び、考えよう ～ミニ・シリーズ「刑務所出所者と釜ヶ崎」その3～	ゲスト・スピーカー： 又野信也さん (西成区の保護司)	20人	5件の事例を紹介。保護司の役割は出所者受け入れ地での「環境調整」。浮き彫りになったのは釜ヶ崎の地域資源の厚さ、サポーターの多さ、たくましさ。
118	08年 9月2日 (火)	西成市民館	ここらでもう一度考えてみる、「まちづくりって何だろう？」 各地の少数派の人々のまちづくり事例もまじえて ～萩之茶屋小学校・今宮中学校周辺まちづくり研究会と共催～	ゲスト・スピーカー： CASEまちづくり研究所代表 寺川政司さん (まちづくりコンサルタント、建築士)	20人	居宅保護生活者・支援団体メンバーと町会・社協関係者が同席し、まちづくり原論や事例を学ぶ。町会側との共催は画期的な到達点。「住民の融合」へ希望湧くひるば
119	08年 10月19日 (日)	箕面市 北芝地区	～紀州街道歩き・番外編～ ずうっと北上して、箕面市北芝地区のまちづくり訪問  & 秋の箕面街道の散歩	仲介は上記まちづくりコンサルタントの寺川政司さん 案内は北芝地区のまちづくり若手リーダーの方	17人	上記のひろばから生まれた企画。同じ「社会的条件不利地域」でのまちづくりの息吹を吸収。箕面の溪流沿いの森林浴で心身もリフレッシュ。
120	08年 10月28日 (火)	市大・西成プラザ(太子福祉館)	<臨時ひろば> 韓国カトリック貧民司牧委員会との貧困地域支援日韓交流会 ～市大都市研究プラザと共催～	【韓国側】韓国カトリック貧民司牧委員会の牧師さん、縫製協同組合のみなさん 【日本側】美交工業、NPO エスアイ協会、再生フォーラム	27人	韓国版「社会的不利条件地域」における仕事づくりとの、国を超えた経験交流。韓国・縫製工の女性の方々も6人参加。
121	08年 11月11日 (火)	西成市民館	「釜ヶ崎写真ライブラリー」づくりのワークショップ(その1) ～古い釜ヶ崎の写真を1枚1枚鑑定→分類→タイトル付け作業のタベ～	オールド釜ヶ崎を懐かしむ参加者全員がスピーカー ▽ライブラリー実行委員会、および市大都市研究プラザと共催	30人	地域に散在している貴重な写真や映像をデジタル化で統合&共同使用できないかと、もちあがった試み。毎日新聞夕刊1面にも報道されるほど盛り上がる。
122	08年 12月9日 (火)	西成市民館	先月の盛り上がりに応えて、今月もだ。 同ワークショップ(その2)	先月に同じ	20人	これらの写真は、2009年6月に開設した『カマン！メディアセンター』（動物園前本通り商店街）で街頭に向けて放映され続け、街のちよつとした名所になりつつある。
123	09年 1月23日 (火)	西成市民館	暗い世相に負けへんで！ まちづくりビジョン磨きだ！ ～萩之茶屋小学校・今宮中学校周辺まちづくり研究会と共催～	ゲスト(むしろ聴き役)：萩小・今中まちづくり研究会メンバー 説明役：ありむら潜(再生フォーラム事務局長) 進行役：寺川誠司さん(同研究会アドバイザー)	19人	再生フォーラムがこの10年間に蓄積してきたビジョンを披瀝し、学び合い、2つのまちづくり団体の共同課題をさぐる。こうしたことがようやくできるようになった感慨ひとしお。
124	09年 2月10日 (火)	西成市民館	ホームレス問題と住民票シリーズ・2年ぶりの第3弾 「全居住者への定額給付金？住居と資格の喪失」	講演： 笹沼弘志さん (静岡大学教授・憲法学)	40人	政策自体は愚策でも居住不安定者が排除されてはならないという原理を学ぶ。野宿者や派遣労働者も「ワシはもらえるのか」と関心が高く、ふだんにはない参加者。

125	09年 3月24日 (火)	西成市民館	釜ヶ崎という地域から見る 派遣労働の今と昔(座談 会方式で)	スピーカー: オールド派遣(寄せ場労働 者)とニュー派遣の経験者 たち、及び支援団体スタッ フ	20人	新旧派遣現場でのリア ルな体験が語られる。 双方の相違の核心は 「労働の中でスキルが 蓄積されるかどうかだ」 とのとらえ方が大勢に なった。
126	09年 4月14日 (火)	西成市民館	サブカルチャーに残る釜ヶ崎 の記録を追う その(1)カマ やん漫画は底辺労働をどう 「記録」したか/検証スライ ドショー <裏テーマ>なぜヒ トは釜ヶ崎を表現したが、 記録したがるのか。その根 源を考える ～釜学研究会と共催～	ゲストスピーカー: ありむら潜(漫画家)	35人	19世紀型タコ部屋労働 から21世紀型NPOによ る仕事づくりまでが、た しかに釜ヶ崎内側から の証言として描かれて いることを参加者は実 感。
127	09年 5月16日 (土)	市大・西成ブ ラザ	春の野菜収穫祭 兼「ブレ ・畑サミット」 ～朝採り野菜を食べなが ら、「畑」を語り合う・のん びり土曜の屋下がり～	ゲスト・スピーカー: “放置農法”でも育てし まったタマネギ君、セリちゃ んたち	17人	10人弱の生活保護の高 齢者の方々が来て和気 あいあい。再生フォーラ ムの畑(和泉市)とコロ ルームの畑(奈良)の、 ともにシロートの経験談 を分け合う。本篇をいつ か。
128	09年 6月8日 (月)	西成市民館	英国“ホームレス支援& 出演オペラ”代表者のお 話を聞き、学び、日本でも 吸収できることを語り合う タベ	ゲスト・スピーカー: マット・ピーコックさん (英国ホームレス自立支援 団体「ストリートワイズ・オペ ラ」代表)	26人	表現のプロを交えた日 常的な取り組みと年1回 の高度な公演の組み合 わせのノウハウは学ぶも の大→2ヶ月後に水都 おおさか祭でのむすび グループとの共演に発 展。
129	09年 6月9日 (火)	西成市民館	たまゆら火災問題から何を 学ぶか。東京・山谷からの緊 急提案、及び支援モデルの 実践報告 ～高齢生活困窮者が安心し て生きていける「支援付き住 宅」をこそ～	ゲストスピーカー: 水田 恵さん他(NPO法 人自立支援センターふる さとの会)	22人	同会のこの10年の発展 の内実は「ホームレス支 援と地域おこしを実際 に結びつけて実体化し てきたこと。その基礎は 支援付き住居づくりだっ た」と。ハコモリからケア する人に予算をつける 仕組みの構築。
130	09年 7月14日 (火)	西成市民館	じゃりん子チエ”ちゃんの” 同窓生”たちがざっくばら んに、釜ヶ崎や学校時代 を語る～萩之茶屋小学校 統合問題を考える一助と して～	ゲストスピーカー: Aさん:萩小には1971年(1年 生)～1973年(3年生)在学 Bさん:萩小には1983年～ 1989年在学 Cさん:あいりん小中学校に60 年代に在学	17人	「地域や労働者の見方 は親が教えないとわか らない。労働者との共存 や未来につながる ない。自分は大人になっ てから理解したが、親た ちは教えなかった」など 胸を打つ言葉多数
131	09年 9月8日 (火)	西成市民館	リーマン後のホームレス 問題の変容をつかみ直す ～全国・大阪・釜ヶ崎の今 ～	ゲストスピーカー: 松繁逸夫さん(釜ヶ崎夜間学 校) 水内俊雄さん(大阪市大都市 研究プラザ) 海老一郎さん(西成労働福祉 センター)	35人	若年化・短期化・生活 保護全面適用が全国的 に進む中で、とりわけ生 活保護適用後の支援の 新枠組みを地域総ぐる みでつくる歴史段階に 入ったことが浮き彫り に。
132	09年 10月13 日(火)	西成市民館	今、市民としての哲学をも う一度磨き直そう。生き 方・活動・事業などをまる ごと引っ張る「大きな理 念」を思い出すタベ	ゲストスピーカー: 岡本仁宏教授(関西学院大 学/政治哲学,NPO/NGO論)	10人	他行事が重なり小人数 ではあった。が、古代か ら現代までの市民社会 論の体系的把握から 「自己決定権の意味」、 「制度の谷間に制度を 創造する市民的気概」 論議が盛り上がる。

133	09年 11月 10 日(火)	西成市民館	ベーシック・インカムと ベーシック・インカム(釜)	ゲストスピーカー： 鈴木亘教授(学習院大学経 済学部)	25人	生活保護適用のハード ルがまだ高い状況下に 流行のこのBI制度を 釜ヶ崎等に適用した場 合等も学ぶ。部分適用 は効果あるも、憲法25 条の生存権主張するな らやはり生活保護制度
134	09年 11月 日 (火)	旧・庚申街道	(紀州街道歩きシリーズ改 め)つながり発見・歴史街道 歩きシリーズ 庚申街道歩き	案内人は水内俊雄さん(大阪 市立大学都市研究プラザ教 授/地理学)。同西成プラザ との共催 ▼なお、08年からこの「ひろ ば」は大阪市大西成プラザと	25人	もう紀州街道にこだわら ず、縁のある街道も楽し もうと修正。JR天王寺駅 付近の今はビルの谷間 の田んぼの畦道跡など も歩く。
	09年 12月 日 (火)	西成市民館	「ケア・支援補助金」制度 の創設で、釜ヶ崎のまち を大きくステップアップさ せよう！ ～提案とアクションの起点 の一つとなるタベ～	ゲストスピーカー： 鈴木亘教授(学習院大学経 済学部) その他「ケア・支援補助金」問 題に関わっている人々	45人	政権交代でこの制度実 現可能性も高まったの で、支給方法や財源論 など具体的な内容まで 踏み込んで検討。ホーム レス支援全国ネットの 政府交渉を注視してい くことになる。
135	10年 1月12 日 (火)	西成市民館	今年こそ、もっと地域のみ なさんとなつがりたい」、 各職員労組ホンネトーク ～地域の総力を引き出すた めの新春縁結び座談会～	ゲストスピーカー： 釜ヶ崎地域関連の公的機関 労組の方々 大阪市役所・西成区役所、西 成労働福祉センター、大阪社 会医療センターの各職員労 組から	40人	地域の変貌やまちづくり につながりきれていない 領域への待望の企画。 住民と業務の狭間で悩 み続けてきた各機関職 員さんたちにはうれしい 受け皿。率直な語りあい がされ、今後につながる
136	10年 2月9日 (火)	西成市民館	もっと地域のまちづくりに つなげたい人的資源、今 度は西成が生んだラップ・ ミュージックの旗手 ～地域の総力を引き出すた めの縁結び座談会シリーズ ～	ゲストスピーカー： SHINGO☆西成さん 味付けスピーカー：松下隆さ ん(あいりん小中学校卒業生) 川浪 剛さん(浄土真宗僧侶)	30人	地元への思いをラップも 入れて語るシンゴさん。 ネットで知ったシンゴさ んの追っかけ若者たち も混ざって、一味異なる 集まりに。松下さんの 釜ヶ崎育ちの話にも感動。
137	10年 3月 9日 (火)	西成市民館	萩之茶屋小・今宮中周辺 まちづくり研究会拡大会 議のまちづくり構想の説 明会 ～みんなが納得できるまち づくりを考える機会とするた めに～	スピーカー： 同研究会の方々 (町会長さん、地区社協会長 さん等) 同拡大会議参加の支援団体	35人	朝日新聞「市が公園テ ント撤去」報道騒動を乗 り超えるべく開催。運動 団体と町会や社協関係 者などが一堂に会しま ちづくりを議論したこと は釜ヶ崎始まって以来 かも。「信頼関係づくり の一歩戻しになるか」
138	10年 4月 11日 (土)	西成プラザ	春のお花見&パーベ キュー	平均年齢76歳の紙芝居劇グ ループ「むすび」との共催	30人	生活保護の高齢者(日 雇い労働者OB)たちが 気軽に参加できる「ひろ ば」にと企画。なんと1歳 から91歳まで参加。踊り や歌も。究極の「無縁社 会」釜ヶ崎で寄り添いあ う姿は心温まるものだ。

～を掲載)

:なる)